

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 787 事業名 保健センター整備事業(田尻)

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		保健所費
	大事業		保健所事業
事項		保健センター整備事業(南)	

事業種別	新規	主な事務事業
事業期間	平成21年度	～ 平成25年度
関連個別計画		
担当課・担当課長(Tel)	総務企画課	瀬崎 典男(433-2261)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」	「基盤力を磨く」	「観光力を磨く」	該当せず
コミュニティーの充実	メリハリある都市づくりの充実	史跡和歌山城の充実	
市民の健康環境の充実 ○	道路・公共交通網の充実	海を生かした観光シフトの充実	
総合的な子育て環境の充実	総合防災体制の充実	美味しい和歌山市イメージの充実	
その他	その他	その他	

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
	老朽化した南保健センターを移転することにより、駐車可能台数が増加する等、市民の利便性の向上を目的とする。	南保健センターの土木（道路・造成）工事及び建物実施設計を実施し、平成27年度当初に供用を開始する。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		保健センター用地取得 調査設計業務委託（土木）	調査設計業務委託（動産移転）	調査設計業務委託（動産移転）	建物実施設計委託 土木工事	建物工事

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	1,827,588	1,709,931	171,170	9,829	261,697	73,272	224,139			
	伸び率(%)	-	-								
	人件費	常勤職員	10,437	9,411	10,437	8,326	10,437	10,240	10,437		
		非常勤職員									
		小計	10,437	9,411	10,437	8,326	10,437	10,240	10,437		
	国庫支出金	678,404	678,404								
	県支出金										
	市債	1,826,700	1,031,200	400,000	8,800	188,900	54,700	161,300			
その他											
一般財源(税等)	888	327		1,029	72,797	18,572	62,839				
所要人数	常勤職員	1.36	1.23	1.36	1.1	1.36	1.36	1.36			
	非常勤職員										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	用地購入	年度目標値		7		7	1			
		実績値		6		6	1			
	単位	筆	全体目標値	14	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	85.7%	85.7%	100.0%
			全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
			全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
成果指標	予算の執行率（繰越を除く。最終補正後の予算に対する執行率）				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	年度目標値		100	100	100					
	実績値		93.6	10.4	76.6					
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	93.6%	10.4%	76.6%		
			全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
			全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	進入路用地は全て買収しているため。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	